

工業技術センター創立10周年記念事業

- 技術立県シンポジウム

 - 技術立県講演会

 - 技術立県会議

 - 鹿児島宣言

- 創立10周年記念行事

 - 創立10周年記念式典

 - 創立10周年記念植樹

 - 創立10周年記念研究成果発表会

 - 鹿児島県システム技術開発センター開所式

- 創立10周年記念誌の発刊

技術立県シンポジウム

～21世紀へはばたく地域産業～

21世紀に向けて、技術立県を目指す鹿児島県が着実な発展を続けるためには、産学官の研究資源を集結して、地域産業の高度化と新産業の創出を図ることが重要かつ急務です。

このシンポジウムは、技術開発により地域産業の活性化を図るため、通商産業省工業技術院の協力を得て開催したもので、技術立県講演会と技術立県会議が開催されました。

技術立県講演会では、はじめに通商産業省工業技術院の佐藤院長より『国の科学技術施策の動向』と題して基調講演があり、続いて鹿児島大学の田中学長とネミック・ラムダ㈱の斑目会長からそれぞれの立場で特別講演が行われました。

また、技術立県会議では、基調講演及び特別講演を受けて、これからの技術開発のあり方と地域産業の振興を展望するため、『技術開発を通しての地域産業の活性化』をテーマに、国・県・大学と企業の代表者によるパネルディスカッションが行われました。

その後、パネルディスカッションの結果を踏まえて「鹿児島宣言」が発表されました。

これに対して、知事から「『うるおいと活力に満ちた鹿児島の創造』を目指して、鹿児島宣言に掲げられた主旨に沿う諸施策の着実な実施を通して、活力ある産業群の形成に全力を傾けていきたい。」との決意表明がありました。

最後に、佐藤工業技術院長の「鹿児島宣言に沿った方向で協力をしていきたい。」とのコメントがありました。

日 時	平成9年11月19日（水） 午後1時
場 所	城山観光ホテル（地下1階 飛鳥の間） 鹿児島市新照院町41番1号
主 催	鹿児島県 財団法人日本産業技術振興協会 社団法人鹿児島県工業倶楽部
後 援	通商産業省工業技術院 通商産業省九州通商産業局 財団法人鹿児島県新産業育成財団、鹿児島頭脳センター 鹿児島県中小企業団体中央会、鹿児島県商工会議所連合会 鹿児島県商工会連合会



技術立県講演会

- 基調講演 『国の科学技術施策の動向』
工業技術院院長 佐藤 壮郎
- 特別講演 『鹿児島大学における産官学連携の取組』
鹿児島大学学長 田中 弘允
- 『私の企業理念』
ネミック・ラムダ株式会社
代表取締役会長 斑目 力曠

技術立県会議

テーマ 『技術開発を通しての地域産業の活性化』

コーディネーター

南日本新聞社論説委員

初木 泰

パネラー

工業技術院技術審議官	吉田 裕
九州通商産業局局長	瓦田 栄三
工業技術院九州工業技術研究所所長	陣内 和彦
鹿児島大学学長	田中 弘允
社団法人鹿児島県工業倶楽部副会長	坂元 昭夫
鹿児島県商工労働部部長	松尾 隆之
鹿児島県工業技術センター所長	廣末 英晴



鹿児島宣言

平成9年11月19日

世界経済はグローバル化、情報化が一層進展し、先進国間の競争の激化、アジア諸国の台頭など、大競争の時代を迎えており、産業技術分野においても熾烈な国際競争が展開されています。このような中で、新技術の開発、新産業の創出、さらには近年顕在化しつつある地球環境問題などの諸課題の解決に向けて、研究開発機能の強化が不可欠であるとの認識が益々高まっております。

我が国においては、科学技術立国をめざして平成7年に「科学技術基本法」が制定され、さらにこれを総合的かつ計画的に実行するために、平成8年に「科学技術基本計画」が閣議決定され、現在着実に実行に移されているところです。

鹿児島県では、平成2年に策定した「鹿児島県総合基本計画」に基づき、これまで第1期、第2期の実施計画を通じて地域産業ダイナミズムの形成を図ってきたところであります。また、現在、「うるおいと活力に満ちた鹿児島の創造」を目指し、第3期実施計画を策定しているところであり、これまでの実績を踏まえながら、創造性あふれる新規産業の創出と地域産業の形成を図ることにしております。

今後の国際化・技術革新のさらなる進展や地球規模の環境問題などの諸課題に的確に対応するためには、県試験研究機関の研究開発機能の一層の充実と、産学官の有機的な連携を図ることが極めて重要であります。

ここに、自然環境に恵まれた本県の地域特性を生かしながら、人間と環境に優しい総合的な技術開発を進め、活力ある産業群の形成を図るため、「自然と共生する技術立県鹿児島」の構築をめざして、以下の施策を強力に推進することを宣言します。

1 地域産業の高付加価値化と新規産業の創出を図ります。

豊かな地域資源や産業技術の集積を生かし、食品関連、電子関連、加工組立型産業などの地域産業の高付加価値化や、情報、バイオ、宇宙、環境、健康福祉関連産業などの新規産業の創出を図るとともに、これらを支援する研究開発体制を充実強化します。

2 創造的な人材の育成に努めます。

技術の高度化、新商品の開発、新規産業の創出・起業化を促進するため、大学、県試験研究機関、県新産業育成財団、鹿児島頭脳センターなどの有機的な連携のもとで、創造的な研究開発能力や旺盛な起業家精神を有する人材を育成します。

3 産学官の連携強化による独創的技術開発の基盤を強化します。

独創的な研究開発を推進し、技術移転の促進などにより、起業化を積極的に支援するため、産学官研究機関の環境整備・充実に努めるとともに、産学官の連携をさらに強化しながら、世界レベルの研究プロジェクトを創出・実行することに努めます。

創立10周年記念行事

平成9年12月1日実施

創立10周年記念式典

工業技術センターが昭和62年12月1日に開所してから、満10年が経過し、これを記念する式典を開催しました。

式典では、最初、商工労働部次長の挨拶があり、県総合基本計画第3期実施計画におけるこれからの工業技術センターの役割への期待が述べられました。その後、所長の挨拶があり、「研究テーマの選定」の重要性が述べられました。最後に、鹿児島県工業倶楽部の本坊会長から祝辞があり、10年間の工業技術センターとのかかわりや、地域資源の利用、伝統技術の高度化さらに技術の国際化についてこれからの工業技術センターへの期待が述べられました。



創立10周年記念植樹

創立10周年を記念して、ヤマボウシの苗木6本が、川島商工労働部次長、廣末所長、本坊工業倶楽部会長と3人の若い職員（吉村(幸)、岩屋、下野）により植えられました。



創立10周年記念研究成果発表会

(21世紀へはばたく地域産業をめざして)

所長挨拶の後、鹿児島大学の森本雅樹教授による特別講演「天文学者だって物を作るんですよ」がありました。その後、研究成果4テーマの口頭発表と17テーマのパネル発表を行いました。県内企業をはじめ各方面から約130名の参加があり、熱心な質疑応答と活発な技術交流が行われました。

口頭発表	・新規焼酎用酵母の開発	(食品工業部)	高峯和則
	・シラス利用の新技术開発	(素材開発部)	袖山研一
	・誤動作対策支援システムの開発	(電子部)	尾前 宏
	・中小断面集成材の製造システムの開発	(木材工業部)	山角達也



鹿児島県システム技術開発センター開所式

システム技術開発センターは、九州南部スーパーテクノゾーンの整備方針に沿って建設されたもので、応用技術、生産システムの開発、製造ラインの試作等を行う産学官連携研究開発施設です。松尾商工労働部長の祝辞と廣末所長の挨拶の後、テープカットがあり、センター内の一般公開が行われ開所を祝いました。





10周年記念職員写真